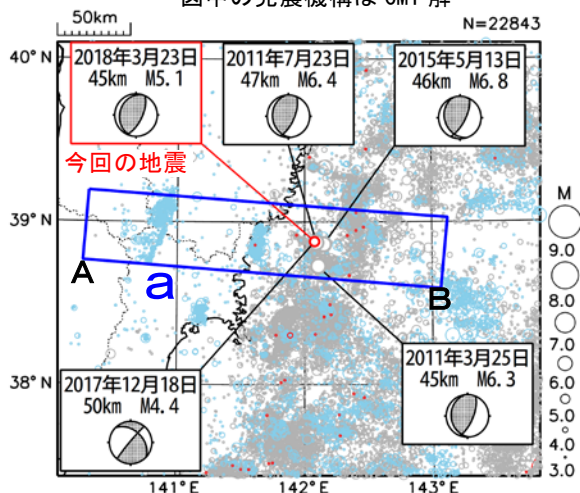


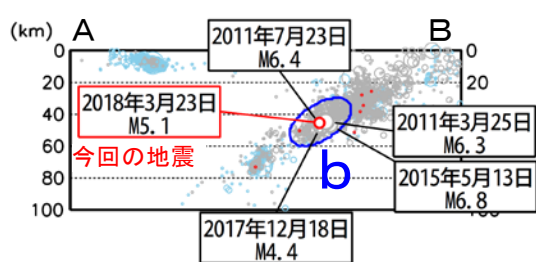
3月23日 宮城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2011年3月10日以前に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を○、
2018年3月に発生した地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解

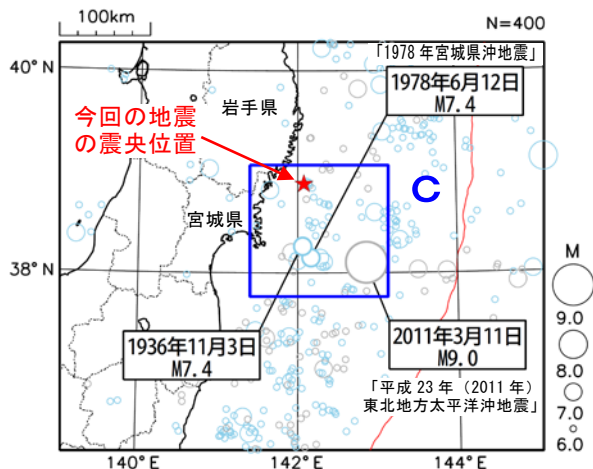


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2011年3月11日以前に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を○で表示

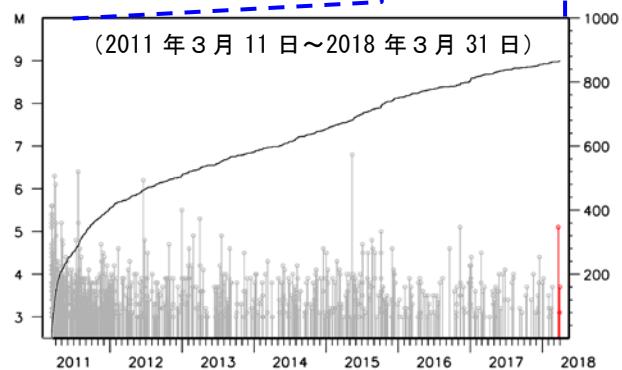
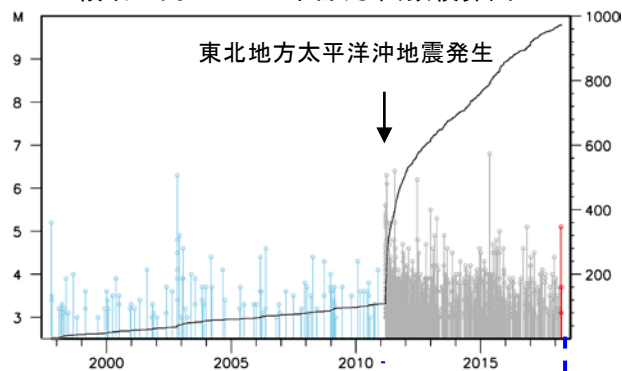


2018年3月23日06時32分に宮城県沖の深さ45kmでM5.1の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、東北地方太平洋沖地震)の発生以降に地震活動が活発化し、M5.0以上の地震が時々発生しており、2015年5月13日にはM6.8の地震(最大震度5強)が発生した。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1978年宮城県沖地震」(M7.4 最大震度5)が発生し、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟等の被害が生じる(被害は「日本被害地震総覧」による)など、M7.0以上の地震が9回発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

